





◆ごあいさつ◆

玉名市長 島津 勇典

玉名市は、平成17年10月3日に玉名市、岱明町、横島町、天水町の1市3町が合併し、人口72,000人を有する新しい玉名市が誕生しました。

本市は、有明海、菊池川、小岱山及び金峰山系の山々などの豊かな自然に恵まれ、産業面では米をはじめとする野菜等の農産物やノリなどの水産物の生産が盛んであり、あらゆる面において恵まれた都市ではありますが、平成23年の九州新幹線鹿児島ルート新玉名駅（仮称）の開業を控え、文字どおり県北の拠点都市としての発展が期待されています。

さて、近年の自治体を取り巻く社会環境は、少子・高齢化の進行、高度情報化、地球規模での環境問題、地方分権の推進など、大きな変革の時に直面していますが、合併後間もない本市にとって1市3町の速やかな一体性を促進し、新市の均衡ある発展と住民福祉の向上を図ることは急務であります。

そこで、今後10年間における市の発展の方向性をお示しするため、市民の皆様のご提言をいただきながら市政運営の基本方針となる「第1次玉名市総合計画」を策定しました。

本総合計画は、『信頼と勇気ある改革』を基本理念とし、『人と自然がひびきあう 県北の都 玉名』を将来像に掲げており、県北をリードする魅力ある玉名を実現するための総合的かつ計画的な市政運営の指針となるものです。

今後、市民と行政が「協働」という新たな関係を築くとともに、市民の皆様と一丸となり「県北の都 玉名」づくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画書の策定にあたり、熱心にご審議いただいた玉名市総合計画策定審議会の委員各位をはじめ、貴重なご意見やご提言を賜りました多くの市民の皆様方に、心から厚くお礼申し上げます。

平成19年3月